

【今年度の課題と対応策について】

(1) 学部間・職員間の連携と児童生徒への指導に関すること

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策による臨時休業や分散登校、様々な制約の中での教育活動等を行わなければならない状況になりました。保護者の皆様には、毎日の検温と健康観察、マスクの準備、消毒等についてご協力をいただき、心から感謝申し上げます。お陰様で、本校の教育活動を進めることができました。次年度も、この状況は継続しそうです。引き続き保護者の皆様のお力をお借りしながら、児童生徒への指導・支援を進めて参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

学校では、次年度も感染予防対策を徹底いたします。地域の感染レベルを鑑み、県の通知を受けながら、感染レベルに合わせた対応をまいります。現在、感染レベルが1から2に上がり、以前より丁寧な対応が求められているところです。

そこで、次年度も、A課程、B課程の児童生徒が対面スタイルで行われる合同授業については、なお慎重に検討していきます。また、対面の授業にこだわらず、主にはリモートによる合同授業等を実施するなど工夫いたします。地域の感染レベルが緩和された際には、一人一人の間隔を適宜保つことができる広い場所での実施など検討して参ります。

教員の調査からは、学部間で系統性のある指導について、課題に挙がっています。小学部、中学部、高等部と系統的な学習ができるように、学部間で指導を共有できるように児童生徒の学習に関するデータの共有の仕方を工夫したり、次年度に進む学部の時程を意識し変更を試みたりするなど工夫を行います。

(2) 学校と保護者の連携について

昨年度、課題になっていた学校と保護者の連携については、今年度は様々なツール(連絡帳やお便り等)を活用しながら、教員、保護者の双方の結果から、情報交換に努めていることが示されました。引き続き、継続して連携できるよう努めてまいります。

学校・学部行事に関しましては、感染症予防策のため、今年度は中止や延期になった行事が多くありました。次年度も感染予防策を十分に講じて学校・学部行事等を行いたいと考えていますが、その対策の一つとして、参加する保護者の方々には検温や健康状態のチェック、参観時間の短縮、一家庭あたりの参加人数の制限等の御協力をお願いすることになりますので、御理解のほどお願いいたします。

今年度は、医療的ケアが必要な児童生徒の保護者の皆様には、看護師不足のため、学校への付き添い等に対応していただき、大変御迷惑をおかけいたしました。次年度は、保護者の皆様に御負担をおかけしないよう引き続き積極的な求人呼び掛けを行います。

PTA活動についても、コロナの影響で中止、延期となることが多くありました。次年度もコロナ感染症予防対策で、限定した活動になりそうですが、今後とも保護者の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

(3) 通学バスの運行に関すること

今年度は、年度途中からバスが増便になり、一部の保護者の皆様には時間変更に応じていただくなど御協力いただきましたことに感謝申し上げます。また、今年度は雪のため運行が遅れることも多々ありましたが、その都度、臨機応変に対応していただき、本当にありがとうございました。通学バスに関する反省事項については、バス会社と共有し、今後も引き続き、安全な運行に協力していく所存です。

(4) 地域連携に関すること

今年度は、コロナ感染症対策のため、外部との交流が難しい状態となりました。次年度も、懸念される交流活動ですが、地域の感染レベルや活動の内容に応じては、コロナ感染症対策を十分に講じた上で行って参ります。また、新しい交流の形として、直接の交流ではなく、オンライン活用等の間接的な交流も検討しているところです。また、活動した内容については、ホームページや学校便りで地域や保護者の皆様に発信してまいります。